

政策	22 生活環境の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地		有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無		無	成果向上の余地	有
対象	市民全般						
施策が目指す姿	種別に応じた適切な適切な規模・機能を有する公園緑地の整備や地域の主体的な取り組み等による既存公園の維持・管理を進める。 墓地需要に対応した新たな墓園の整備や既存墓園の維持・管理、斎場の再整備を図る。 定住を促す市営住宅の適正な維持・保全や利便性を高める生活道路の整備を図る。						
成果指標	居住環境の整備に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で65%(現状値55.5%) 斎場墓地に対する満足・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で50%(現状値-) 道路の整備・保全に対する市民満足度・・・5年間(平成25年度～平成29年度)で60%(現状値50.2%)						
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [%]	予定				65.00	/
		実績				55.10	
	成果指標2 [%]	予定				50.00	/
		実績				57.70	
	成果指標3 [%]	予定				60.00	/
		実績				45.80	
	成果指標4 [%]	予定					/
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,321,662	2,352,551	1,977,634	1,907,844		/
	実績	2,191,552	2,214,085	1,814,427	1,906,432		
内部評価	貢献度	基本方針の「心地よく暮らせるまちづくり」を進める上で公園緑地や斎場・墓園、市営住宅、生活道路等の整備、維持管理は本施策指標である市民満足度の重要な要素となる。					
	達成状況	下位単位施策である施設等の整備・維持管理状況については概ね目標通り進捗している。新斎場については、スケジュールの見直しを行い、事業を進めている。					
	課題	公園施設や生活道路において、整備や維持・修繕が十分でない箇所が見受けられる。また、新斎場については、見直したスケジュールを確実に履行する必要がある。					
	取組方針	各施設等計画的な整備及び適正な維持・管理を実施していく。また、新斎場については、スケジュール実現のための事務を確実に履行する。					
外部評価	道路、河川、公園の美化活動については、アダプト制度により自治会単位で市民がボランティア活動に参加することができるので、制度の趣旨を多くの方に理解していただき、1人でも多くの市民に協力してもらいたい。28年度に行った市民アンケートの結果は斎場墓地に対する満足度は目標値を上回ったものの、居住環境の整備及び道路の整備・保全に対する満足度は目標値には程遠いものとなったので、満足度が低かった原因をよく検証し、今後の各種事業に活かしてほしいものである。このため、総合計画後期基本計画策定の際は、目標値の設定をよく検討し、妥当な数値に見直すべきである。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	2202	衛生環境の充実				581,421	100
	2203	住環境の維持・向上				854,359	100
	2201	公園緑地の維持・整備				470,652	98

平成28年度

基本 施策評価表 補表

施策	22 生活環境の充実		
区分	妥当性	妥当	施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	コスト縮減のため、効率的な維持管理につとめる。
	受益者負担	適正	受益者負担については適正である。
	上位貢献度	有効	施策の目的を達成するために有効である。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	適切な事業実施により、適正な維持管理が見込まれる。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針	各施設等の調査点検の強化に努め、計画的な整備・補修・管理を実施していく。さらに、道路や公園等の管理(美化活動)について、地域住民などのボランティアにお願いし、行政がその活動に対して一定の支援を行うアダプト制度を全市的に推進する。	